

バングラの国に 愛の手を



■1■

こんなに元気になりました

ミャンマー子ども病院

サンサイエさん(三)は一歳半になる女児、チユーチュエミューちゃんを抱いていた。やせて手足が細く、体重は五カ月児ほどの七キロちょっとしかない。それでも「こんなに元気になりました」とわが子にほおずりするサンサイエさんに、AMDA(アマダールアシア医師連絡協議会)の吉岡秀人医師(三)国立岡山病院勤務は目を細めた。

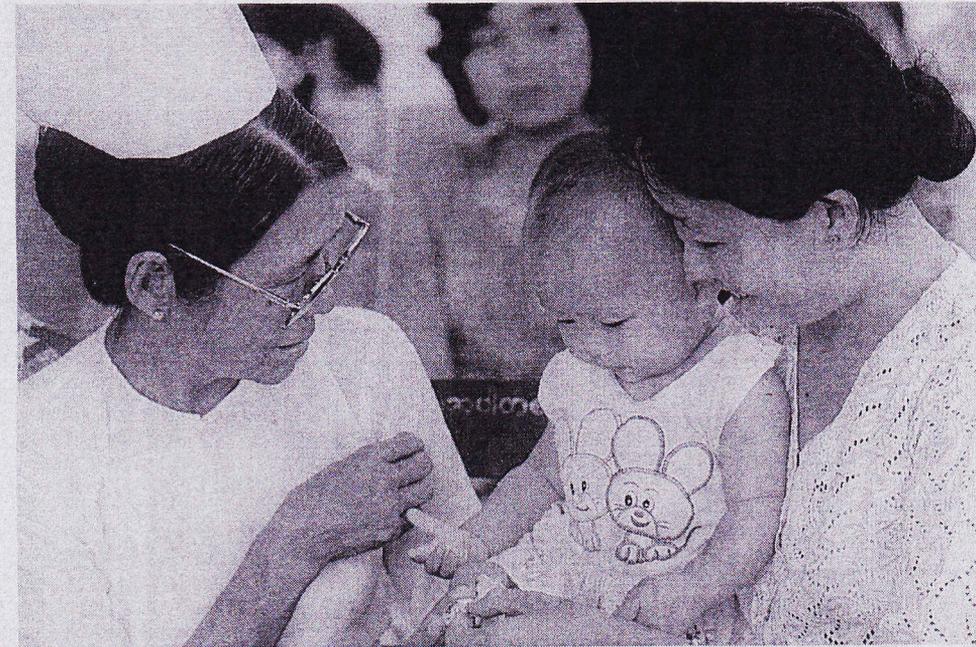
ミャンマー中部メッティンも給食を受けている。ミャンマーの北に位置するマツラ地区の北に位置するマツラ地区。吉岡さんは一年前、この村に巡回診療にやってきました。

サンサイエさんは出産後、体調を崩し、母乳が出なくなりました。栄養不良でやせていくチユーチュエミューちゃんをかかえて、町で医師に診てもらったことがあ



焦りが募るころ、日本人の医師が無料で診療を始めたのを聞いた。「三カ月間通って、薬をもらいました。粉ミルクもあ

笑顔が支えた医療



今は友達の前で、手を布で隠すこともありません。手チサさんはやけどの跡が残る左手の指を動かして笑った。チサさんは一歳の時、黒砂糖をつくる煮立った鍋に誤って手を入れました。今では友達の前で、手を布で隠すこともありません。に目が行き届かない農家で、はよくある事故だった。医師にかかるお金がなく、そもそも近くに医師がいない。吉岡さんに手術をしてもうまで、やけどを「先生には心から感謝をしています」

チサさんは人生を変えてくれた吉岡さんにこう言った。土、日曜は診療所での手術にあてた。吉岡さんの生き方は、この子供を治す技術がある。だから治すも夜の十一時を回って、金を出してほしい」と話めた。寄っていた。

AMDAは一九九五年十一月からミャンマーで医療活動を行っている。最初に派遣された医師が吉岡さんだ。一年九カ月にわたる滞在中、子供たちを職業は、こういう国で仕事

AMDAの吉岡医師 自分の使命に誇り

はじめ大勢の患者を診た。平日は午前五時にメッティラの診療所で口唇裂ややけどの手術が始まる。九時には車や馬車に乗って近郊の農村へ巡回診療に出かけ、夕方から再び診療所でAMDAの巡回診療には近隣の村から多くの患者が集まってくる。幼い命を救い、笑顔と健康を...

AMDAの巡回診療には近隣の村から多くの患者が集まってくる。幼い命を救い、笑顔と健康を... そんな願いを込めて「ミャンマー子ども病院」が建設される。ミャンマー・メッティラ地区

産経新聞社提唱「明美ちゃん基金」が「ミャンマー子ども病院」建設プロジェクトに適用されました。先天性心臓病で苦しむ鹿兒島県の少女、伊瀬知明美ちゃんの記事がきっかけで昭和41年に設立された基金には、全国の皆さんから多くの浄財が寄せられ、世界各国の幼い命を救ってき



「明美ちゃん基金」のあて先は、〒530-8277 大阪市北区梅田2ノ4ノ9、産経新聞大阪本社「明美ちゃん基金」事務局へ、現金書留で。銀行振込は東海銀行桜橋支店、普通口座369554、明美ちゃん基金まで。

AMDA
本部・岡山市。菅波茂代表。昭和59年に設立され、世界21カ国に支部を持つ国連医療NGO。会員は約1500人。フィリピン・ピナツポ火山噴火、インドネシア・スマトラ島南部地震、最近では中米を襲ったハリケーンなどの被災地や紛争地域に医師を派遣して救援活動を展開している。